



### eスポーツを活用した地域のつながりづくり eスポーツ普及員養成講座



9月12日(木) 総合福祉センター「しあわせ」でeスポーツ普及員養成講座を開催しました。講座ではeスポーツを活用した地域づくりや、実際にサロンなどでeスポーツを行う時の演出方法などを学びました。受講者の方からは「これから自分の地域でも活用していきたい」等の感想があり、とても有意義な講座になりました。

## TOPIC

- **特集** 夏休みボランティア体験 P2,3
- 能登半島地震 災害ボランティアセンター運営支援 活動報告 P4
- 令和6年度県民総合福祉大会 P5
- 南部町社会福祉推進大会、あいのわ支え合い講座案内 P6
- 赤い羽根共同募金、ホームページリニューアル P7

南部町社会福祉協議会

本 所：法勝寺331-1

総合福祉センターしあわせ内

0859-66-2900

会見支所：浅井938

総合福祉センターいこい荘内

0859-64-3515



最新情報はここから

# 中学生は コースに分かれて体験！

## 高齢者介護施設体験

介護が必要な高齢者が利用しておられる施設で一緒に過ごし、暮らしのお手伝いや関わり方などを学ぶ3日間です。



## 障がい者施設体験

南部町内にある施設や作業所で、利用者の方と一緒に作業やレクリエーションをして過ごす3日間です。



## 児童福祉施設体験

保育園や学童保育で園児・児童のお兄さんお姉さんとなって、お世話をしたり、勉強を見て過ごす3日間です。



# 夏休みボランティア体験



## 夏休み ボランティア体験とは？

地域に暮らす人々の中には、障がいがあったり、年をとって身体が弱くなったり、生活するのに手助けが必要な方がいらっしゃいます。皆さんの生活を守るために、施設がつけられたり、福祉サービスやボランティア活動が行われています。

このプログラムは、夏休みの期間を利用して、小学生・中学生のみなさんに施設や地域でボランティア活動に参加してもらい、自分で考えて行動する力やコミュニケーション力を体験して学んでもらうものです。



● いきいきサロン活動への参加

## 地域福祉サービス体験

小学生19名・中学生6名を社会福祉協議会で受け入れしました。総合福祉センターいこい荘を中心に、小学生は2日間、中学生は3日間の体験を行い、町内のボランティアで活躍されている方たちと一緒に活動しました。

実際に自分で見て、聞いて、考えながら楽しく福祉活動を体験しました。



● 南部町新☆青年団 へん to つくりとの活動



● eスポーツ体験 × 高齢者疑似体験



● 赤い羽根共同募金について知ろう



● 車いす体験



● 南部町赤十字奉仕団との活動



# 能登半島地震 災害ボランティアセンター運営支援 活動報告

## 南部町社協から職員を派遣しました

この度の能登半島地震において、犠牲になられた方々へお悔やみを申し上げますと共に、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。各地の社会福祉協議会は災害時において、都道府県社会福祉協議会と連携して、被災地の災害ボランティアセンター運営支援を行います。

南部町社協からは2名の職員がそれぞれ5/18～5/24と5/26～6/1に石川県の能登町に災害ボランティアセンター運営支援活動を行いました。

### 【主な活動内容】

- ボランティアさんの受け入れや準備（安全に活動して頂く為に）
- 被災されたお宅への要望の聞き取りや被災状況の確認（現地調査）
- 被災宅へのボランティア派遣の調整（人数、割り当てなど）
- 活動報告や記録、伝達



私自身、始めて被災地での支援活動を経験しましたが、被災状況はメディアが伝える通りの状況でした。被災された方々は転居された方、自宅での生活を続ける方、週末のみ戻られる方などその生活状況は様々でした。

印象に残ったのは高齢世帯でご主人だけ自宅に戻り奥様は親族のお宅へ避難されたケースです。ご主人にとっては長年住み慣れた場所であり少々危険が伴ってもご自宅での生活を選択された様でした。一瞬の災害で人生の選択を迫られる状況に直面される様々なケースを目の当たりにし、そんな方々にどんなお声掛けをすればよいのか正直わかりませんでした。お話をお伺いするうちに表情が和らいで来られる方や、甚大な被害で心身ともにお疲れでしょうに、鳥取から来たことに「まあわざわざ遠くから大変でしたね」「ご苦労様です」などねぎらってくださる方もおられ、こちらの方が元気付けられることもありました。

また、他県の社協職員の方々との出会いや協働できたことは大変貴重な経験となりました。

復興までの道のりはまだまだだと思いますが、被災された皆さんが少しずつでも被災前の普段に近い生活ができるようになることを切に願ってやみません。



○能登町災害ボランティアセンター  
柳田サテライト  
派遣された職員2名はこちらを  
中心に活動しておりました。



○現地調査の様子  
被災されたお宅の様子を確認と  
聞き取りを行い、ボランティア  
が何人、軽トラックが何台必要  
かなどの判断材料としました。



○道路の様子  
地面の隆起や地割れが激しく、  
通行が困難な道も複数ありま  
した。

### 義援金（南部町・南部町共同募金委員会）のご報告

皆様から寄せられた1,075,606円（9月27日時点）を石川県共同募金会へ送金させていただきました。ご協力いただいた皆様に厚くお礼申し上げます。

# 令和6年度 県民総合福祉大会

## 《鳥取県知事表彰》

ボランティア功労（個人） (敬省略)

氏名	所属
仲原 三砂子	南部町赤十字奉仕団

## 受賞おめでとうございます

令和6年9月12日（木）、県民総合福祉大会が米子コンベンションセンターで開催され、福祉活動功労者の表彰式が執り行われました。本会より推薦し受賞された皆様のご紹介です。永年にわたる福祉活動に対しまして、心から感謝申し上げます。

## 《鳥取県社会福祉協議会会長表彰》

社会福祉施設・団体役員功労

氏名	所属
石田 禎三	南部町身体障害者福祉協会
田浪 照雄	南部町老人クラブ連合会

ボランティア功労（個人）

氏名	所属
河野 早苗	南部町赤十字奉仕団
原 環	地域福祉委員（落合下）
細田 幸子	地域福祉委員（東西町3区）
上原 洋一	地域福祉委員（朝金）
長尾 智恵	地域福祉委員（大河内）

社会福祉施設・団体職員功労

氏名	所属
荒木 佐代子	社会福祉法人 伯耆の国
松原 美千代	社会福祉法人 伯耆の国
遠藤 和子	社会福祉法人 伯耆の国
安達 明美	社会福祉法人 伯耆の国
奥田 加代子	社会福祉法人 伯耆の国
加賀 奈美子	社会福祉法人 伯耆の国
加納 智	社会福祉法人 伯耆の国
松本 寿志恵	社会福祉法人 伯耆の国
藤田 恭子	社会福祉法人 伯耆の国
雲木 真吾	社会福祉法人 伯耆の国
生田 理恵	社会福祉法人 伯耆の国



## 《県民総合福祉大会の様子》



# 令和6年度 南部町社会福祉推進大会

**日時** 12月14日(土) 10:00~12:00

**会場** 南部町富有まんてんホール(南部町役場天萬庁舎3階)

主催:南部町・南部町社会福祉協議会 ※入場無料 当日参加可

南部町社会福祉関係者など多数の町民が一堂に会し、南部町社会福祉の発展に功績のあった方々を顕彰し、また町内小中学生の夏休みボランティア体験学習の認定証の交付及び体験発表など、参加者一人ひとりが福祉の町づくりに対する理解を深め、さらなる南部町の地域福祉活動の推進を目的として開催いたします。

## 内容

- 南部町社会福祉協議会会長表彰式
- 夏休みボランティア体験発表
- 5・6級ヘルパー認定式
- 記念講演

## 記念講演



「つながりを絶やさない地域づくり」  
～そこに支え合いはありますか?～

ご近所福祉クリエイター

さかい たもつ  
酒井 保 氏

## プロフィール

1961年 広島生まれ。知的障がい者施設職員、社会福祉協議会福祉活動専門員、認知症グループホーム・小規模多機能施設の施設長職を経て、2014年8月に『ご近所福祉クリエイション』を創設(主宰)。講演・執筆活動を行っている。イラストレーターとしても活動中。

## 令和6年度 あいのわ支え合い講座

誰もが住み慣れた地域でいつまでも健康に暮らすためには、日頃からの住民どうしをつながりや支え合いが大切です。ボランティア活動や地域でできる活動に参加していただける方を増やし、お互いに助け合える地域づくりのために理解と関心を深めていただくことを目的とし開催します。全講習受講者には、南部町より独自の4級ヘルパー認定証が授与されます。



※令和5年度 支え合い講座の様子

### 【日時・講座内容】

- 《1日目》 令和6年11月 8日(金) 介護の基礎を理解しよう
- 《2日目》 令和6年11月14日(木) 福祉制度・サービス・活動を知ろう
- 《3日目》 令和6年11月19日(火) サービス利用者を理解しよう
- 《4日目》 令和6年11月21日(木) ボランティア活動を理解しよう
- 《5日目》 令和6年11月28日(木) 運動・レクリエーションを体験しよう

申し込み:南部町社会福祉協議会に申込書をご提出下さい。



# 赤い羽根共同募金

## 10月1日～12月31日

「赤い羽根共同募金運動」が今年も始まりました！

お寄せいただいた募金の70%が南部町で行う福祉活動へ、残りの30%が鳥取県全体の福祉活動や災害支援に使われています。



今年も皆さまのあたたかいご理解とご協力をお願いします。

赤い羽根共同募金運動（歳末たすけあい含む）により、南部町だけで2,710,186円の募金が集まり、以下の事業などが共同募金の財源で実施されました。



天津地域振興協議会

歳末福祉餅つき会・しめ縄づくり



御内谷区

世代間交流事業



南部町社会福祉協議会

子ども服リユース事業

令和7年度助成事業 募集中

南部町共同募金委員会  
TEL:66-2900

受付期間:R69月5日(木)～R612月20日(金)

NEW

## 南部町社会福祉協議会 ホームページをリニューアルしました！

7月より、南部町社会福祉協議会のホームページがリニューアルしました。今回のリニューアルではページをご覧になれる皆様がより快適にわかりやすくご利用いただけるよう、デザインを一新しました。今後も新着情報や社協のイベントや行事の様子を更新していきますので是非ご覧になってください。

### ホームページの変更点

#### 情報を探しやすくカテゴリ分けを一新！

サービスを4つのカテゴリに分けることでお探しのページを見つけやすくなりました。

#### スマートフォンでの表示に対応！

スマートフォンでの表示に対応することでより手軽にご利用いただけます。

#### 最新情報を見やすく！

ページの上部に表示される最新情報やイベントカレンダーで最新情報が一目でわかるようになりました。

#### 新着情報

2024.09.05  
10月の無料法律相談について **new**  
2024.09.22  
災害時給出用品の貸出について  
2024.09.15  
令和6年度夏休みボランティア体験事業レポート  
小学生コース・中学生地域福祉コース編



詳しくはQRコードよりホームページをご覧ください



# ありがとうございました

(令和6年6月1日から令和6年8月31日受付まで)

頂戴しました寄付金は、地域福祉委員の活動費・いきいきサロン活動助成金・福祉バス運営経費・配食サービス事業などの福祉活動の財源として活用させていただいています。

## 香典返し

(敬称は省略させていただきました。)

寄付者名	集落名	故人名	金額
亀尾 香	坂根	亀尾孝継	金一封
頼田 牧子	縄平	頼田 猛	金一封
石上 鉄雄	いずみ	石上敏之	金一封
田子 一夫	境	田子サチ子	金一封
坂本 顕一	金田	赤井厚生	50,000
門原 加納	福里	門原英秋	金一封
大塚 道夫	清水川	大塚百合子	金一封
野口 卓夫	谷川	野口佐代子	金一封
岡田 光政	高姫	岡田熙子	金一封
濱本 奈美子	法勝寺7区	濱本公子	金一封
和田 朋美	法勝寺1区	和田桜空	金一封
伊藤 信	下阿賀	伊藤 満	金一封
清川 成広	天萬3番組	清川フミ子	金一封
岩田 奎子	諸木	岩田靖彦	金一封
細田 賢二	市山	野口 悟	金一封

寄付者名	集落名	故人名	金額
遠藤 桂子	三本木	遠藤英子	金一封
河本 裕一	-	河本光月	金一封
持田 茂文	三崎	持田利重	金一封
井上 光志	八金	井上ユキ子	金一封
安田 美穂子	法勝寺1区	安田勇雄	金一封
井塚 節義	金田	井塚 勇	金一封
山田 日出典	三崎	山田瀧子	金一封
井上 雄二	下鴨部	井上恵美子	金一封
細田 真弓	福頼	細田 整	金一封
岡田 敬央	宮前二区	岡田藤枝	金一封

## 見舞い返し

寄付者名	集落名	金額
岡田 俊枝	高姫	金一封
石塚 東弘子	宮前一区	金一封

◎ご寄附の際に、広報紙への掲載を同意された方のみ載せています。  
◎寄附金額等の記載につきましては、寄附者ご本人の意思によるものです。

## 福祉サービス第三者委員のご紹介

福祉サービス苦情解決第三者委員とは、本会が提供する福祉サービスに対する苦情を受け付け、苦情申出者と本会との間で中立・公正な立場で改善事項の調整を行うなど、苦情解決を円滑、円満に図っていく役割を担っていただく委員です。福祉サービスを満足して利用していただくためにもお気軽に第三者委員にご相談下さい。

会見地区

岩田 学

西伯地区

秦 和子

お問い合わせ：南部町社会福祉協議会 66-2900

### 編集後記

### 「スポーツの魅力」

今年の夏は、パリオリンピック・パラリンピックが開催され、世界中の人々に感動と勇気を与えてくれた。日本国内でも高校野球、インターハイ、国民スポーツ大会と様々なスポーツの大会が続く時期。また、テレビをつけるとメジャーリーグで日本人選手の活躍が報道される毎日だった。なぜ人はスポーツに心惹かれるのだろうか。自分の好きなスポーツを観ることによって感動し、少し身体を動かしてみよう思っている人も多いのでは。

振り返ってみると、中学校から様々なスポーツをやり、子供たちにもやりたいと思ったスポーツはできる限り体験させてスポーツの魅力を感じてもらおうと努めてきたのを思い出す。今は、年齢を重ねていくにしたがっていかに健康寿命を伸ばしていくのかを考え、適度な運動と食事に気を配っていかねければと思っている。「継続は力なり」と言われるように、身体を動かす習慣を身につけたいものだ。

10月19日〜22日には、鳥取県内でねりんピックが開催される。クが開催される。是非、時間をつくって観戦したい。

《T・I》

